

# 機能別消防団制度活用による防災機能と消防団魅力の増加プラン 資料

## 提案内容

**主旨** 消防団をはじめボランティア組織はその目的を明確にしシンプルで簡潔な目的達成手段をとるべきである。現状を鑑みて、消防団の機能を機能別に分け適切な人員配置をする。

## 消防団機能の分割例

- 1. 消防団** 消防活動を行う。そのために必要な訓練（ポンプ操法など）をおこなう。
- 2. 機能別ポンプ操法班** ポンプ操法大会が大好きな人で構成する。消防団のポンプ操法の上位入賞をサポートするため、ポンプ操法の情報を管理し（マニュアルづくり等）、専用の機材（操法用のポンプなど）を揃え、訓練を指導する。または独自にチームを作る。
- 3. 機能別ラッパ班** ラッパ吹奏が大好きな人で構成する。大会優勝を目指す。式典での吹奏をする。

以上のように分割することにより、消防団は防災活動に集中し、団員の負担を軽減できる。また消防団本来が持つ魅力を増すことができる。ポンプ操法班やラッパ班もそれぞれの活動に集中でき、上位入賞を達成しそれぞれがより魅力を増すことができる。

## 用語解説

「佐久穂町消防団」

団員数約 420 名、地域別の 7 つの分団とラッパ班からなる。佐久穂町 20~50 歳男性約 900 名のうち約半分弱が入団している計算になる。

「消防団入団宣誓書」

入団時に下記内容に署名宣誓する。

「私は、忠実に日本国憲法及び法律を擁護し、法令、条例及び規則を遵守し、不公平及び偏見を避け、何人をもおそれず、良心に従って、忠実に消防の義務を遂行することを厳粛に誓います。」

「機能別消防団・消防団員」

能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員及び分団の事である。近年の人員不足の影響で、昼夜を限定した活動や特定の災害種別にのみ活動し消防団活動を補完する役割を期待されている。

O B 団員や訓練指導者に適した者を団員の指導を担当する指導者団員、機能別にバイク分団や音楽隊などの広報分団など様々な形態がある。佐久穂町においては東町・崎田班に O B 団員が機能別団員として所属している。

（他市町村での設置例）

**伊那市消防団 O B 分団** 訓練・式典への参加は免除されているが災害時は第一に出動がかかる。

**機能別ラッパ隊** 県内では王滝村をはじめ各地に既にある。主にラッパ吹奏に従事する。

「ポンプ操法大会」

毎年 6 月に郡大会・7 月に県大会が行われる。小型可搬ポンプ操法と、ポンプ車操法に分かれ、集合などに規律動作からホース展張・放水などの一連の動作を規律やタイムで競う大会。全国で行われている。

消防団にとって最も重要な基本的な訓練となるが、訓練は週 3 回約 2 か月など長期に及び時としてそれ以上の自主訓練が行われることが多い。家族や職場への負担も重く、消防団員の公務災害発生の約 6 割が当訓練中に起こるなど問題も指摘される。

